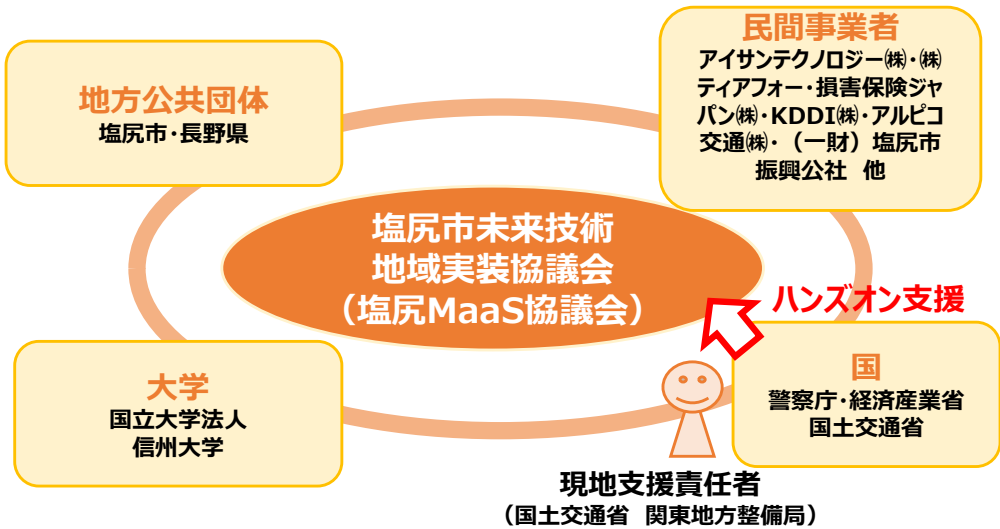


課題

- 運転免許証を自主返納する高齢者は増加（塩尻市内における65歳以上の免許返納者：H30年189件→R2年261件、R3年252件）しているが、自家用車分担率（74.6%）が高い塩尻市においては**免許返納後の自家用車以外の交通手段確保が課題**。
- 鉄道のカバーエリアに限られる中で、それを補う**地域振興バスは便数が少なく、バス・タクシーはドライバーの高齢化による担い手不足と人件費高騰により、持続性が懸念**されている。

推進体制



課題解決に向けた取組

高度無人自動運転サービスの地域実装、既存地域公共交通サービスへの自動運転技術の導入  
→次世代交通による誰もが安心して便利に暮らせる地域社会の実現

高度無人自動運転サービス社会実装事業

- 2025年度までに**高度無人自動運転サービス（Lv4相当）**を市内市街地の生活道路において地域実装（自動運転による公共移動サービスの常態化）し、市街地内の地域公共交通サービスとして確立。
- 5G通信、遠隔運行管理システム導入、保険見守りサービスによる**複数車両遠隔運行**を行う。
- 都市部企業から技術移転を受けた**地域デジタル人材**が**地元交通事業者と連携しながら自動運転運行・車両管理**を担う。
- 車両開発、インフラ環境整備（信号連携やスマートポール、KADOによる高精度3次元地図など）、地域デジタル人材育成、交通DXプロジェクトの塩尻型MaaS（AI活用型オンデマンドバス等）との連携を図る。



2022年度の  
主な取組

- （車両）GSM8の開発・整備 ○（人材育成）自動運転エンジニア育成 ○（社会受容性）試乗会・シンポジウム等の開催
- （環境整備）信号機連携・ITSスマートポールの高度化、遠隔監視の高度化・保険見守りサービスの検証、3次元地図製作
- （MaaS連携）固定端末による自動運転予約、塩尻MaaSとのサービス・データ連携実証